

# かしわ



No. 8 平成30年8月31日 避難訓練の様子

## これからの時代に求められる教育について

校長 北村 耕一

夏休みが終わり、残暑厳しいなか、学校の教育活動が再開しました。学校では経験できない様々な体験をご家族と共に過ごす生活の中で学んだ子どもたちは、また成長したように思われます。

第7号では本校の教職員の「夏休み」について紹介し、引き続き第9号でも紹介します。私自身の「夏休み」は第5号に書きましたが、目標だった「健康に過ごす」「読書を楽しむ」は達成することができました。(現在「徳川家康」の18巻を読んでいます)

さて、今回の巻頭言の題は「やや堅苦しい」ものにしました。既に兄弟姉妹のいらっしゃる方は、それぞれが通われている学校からの情報をお持ちだと思いますが、新学習指導要領が校種別に順次、施行されていきます。

平成30年度(2018年度)から施行された幼稚園教育要領では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の明確化(「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」)がなされ、本校でも日々の教育活動のなかで指導がなされています。

2020年度には小学校、2021年度には中学校、2022年度には高等学校で新学習指導要領が施行されます。準じた教育を行っている本校でも、小中高等学校と同様にこの移行期間中の取り組みを行っています。8月24日(金)に行われた横須賀市教育委員会の小学校教職員対象の説明会には、本校の小学部・幼稚部の先生方も参加し、一日、研修に励んでくれました。

私は、6月21日(木)、22日(金)に全国特別支援学校長会に出席し、上智大学総合人間学部教授の奈須正裕先生の講演を聞いてきました。「社会に開かれた教育課程と育成を目指す資質・能力」という演題の話の中で、新学習指導要領に関わる数々の委員を務めた教育界のキーマンである奈須先生から貴重な話を聴くことができました。

特別支援学校の校長を対象にした講演でしたので、教職員には馴染みのある言葉でも保護者には「業界用語」的に感じると思います。私にとって印象深かった内容＝学んだ内容は、以下の事柄です。

- ①「何故、10ヶ月に渡って教科等別の部会が立ち上げられなかったのか？」→まずは学習する子どもの視点に立ち、「何ができるようになるのか」：資質・能力という観点から検討した。
- ②「社会に開かれた教育課程」は同時に「子どもにも開かれた」教育課程。
- ③学力論：「資質・能力」(思考力、意欲、社会スキル)中心→「どのような問題解決を現に成し遂げるか」…実生活を基盤とした生きて働く学力。

この他、心理科学者としての観点から興味深い話を聴かせていただきました。

新学習指導要領により育む子どもの「力」は、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」(学びに向かう力・人間性等)、「何を理解しているか、何ができるか」(知識・技能)、「理解していること・できることをどう使うか」(思考力・判断力・表現力等)という3つの柱によって育成されることになります。そして奈須先生は他の文献で「『何を知っているか』から『何ができるようになるか』への転換が大切だと述べています。

また、講演に戻りますが、「思考したものを表現する。表現することで思考が深まる」という言葉も印象に残りました。素人の私は、表現方法は文章や絵画・彫刻等になるのかなと思いました。学校教育や家庭生活で表現しやすいものは、文章＝作文等かなとも思いました。

(絵日記は両方の表現が含まれていますね)

前期も残すところわずかとなりました。今回は新学習指導要領に関わっての話を書きました。本校の子ども達の「力」を育成するために、教職員も夏季の研修等で身に着けた授業の指導力を生かしていきたいと思えます。

## 幼稚部 夏休み中の登校日の様子

幼稚部 最上 裕美

夏休みに入って間もない7月25日(水)は幼稚部の登校日で「子ども縁日」を行いました。

「ゲームーナ」では、魚釣り。今回の魚はお菓子が入っているので、子どもたちは慎重に釣っていました。「大きい魚だよ」「5匹釣ったよ」と大はしゃぎでした。スーパーボールすくいもありました。「キラキラのスーパーボールだよ」「一番大きいのをとったよ」などうれしそうに見せてくれました。



ゲームの後は、フランクフルト屋さんとかき氷屋さんをおいしく楽しみました。フランクフルトは「マスタードはからいよ～」「熱いから気をつけるよ」と元気にほおぼっていました。かき氷はイチゴ、マンゴー、ブルーハワイ、練乳とシロップがあり、自由にいろいろな味を楽しみました。「イチゴとブルーハワイで、ブドウになったよ」「ペロが青くなったよ」など楽しそうでした。

短い時間でしたが夏休みの中、幼稚部みんなで元気に楽しむことができました。

## 関東聾学校体育連盟卓球大会観戦記

校長 北村 耕一

8月20日(月)～22日(水)に茨城県ひたちなか市で関東聾学校体育連盟の卓球大会が開催されました。本校から

中学部の生徒が参加したので、応援に行ってきました。

本校に着任した平成27年度に体育連盟の「会長」を務めた関係で、平成28年度から今年度まで「顧問」という立場にいます。「会長」の時もこの体育館で大会が開催されたので懐かしく思いました。

「会長」職は大会運営の責任者で様々な仕事がありましたが、「顧問」は表彰時に参列すればよいので、応援に専念することができます。中学生としての最後の大会だったので、持っている力を十分発揮してもらおうと応援しました。(「声」を観覧席からは出せないで得点をあげた時に「拍手」で応援しました)

結果は、善戦むなしく、個人戦、横浜市立ろう特別支援学校の高等部生徒2名と合同で参加した団体戦共に負けてしまいました。

平成28年は山梨県、29年は群馬県、そして茨城県となかなか他県開催時には勝てません。しかし、来年は地元神奈川県平塚市で卓球大会は開催されます。今年度寄贈された卓球ロボットを使って練習し、来年は勝つことでしょう。「継続は力なり！」頑張りましょう。

## 9月の主な行事等の予定(詳細は学級通信を参照)

- 3(月)中高等部昼休みグラウンド整備、早寝早起き頑張ろう週間、校内夏休み作品展(～7)
- 4(火)小学部水泳授業AM不入斗プール
- 5(水)HA相談、幼稚部給食後下校
- 7(金)PTA運営委員会9:20校長室、PTA手話研修会10時  
全校清掃グラウンド(昼休み)
- 12(水)耳鼻科健康相談(金子Dr)
- 13(木)小学部4・5年生宿泊学習(～14)三浦YMCAグローバル・エコ・ガレッジ、中高等部前期期末試験(～14)
- 18(火)幼稚部授業参観・説明会
- 19(水)通級きこえグループ学習会15時
- 20(木)小学部読み聞かせ10:50
- 21(金)幼稚部お月見の会、全校授業研究協議会5校時
- 26(水)幼稚部校外活動：くりはま花の国
- 27(木)通級保護者懇談会10:30～12:00

